

平成22年度学校評価(大津市立藤尾小学校)

大項目	中項目	小項目	評価	自己評価(成果と課題・次年度の改善点)	評価委員会から
地域に開かれた特色ある学校づくり	学校経営	学校経営管理全体計画や基本方針のわかりやすさと適正さ	A	<p>・学校だよりやホームページなどで積極的に情報提供を行った。今年度は、耐震工事もあり、地域との連携は例年以上に密接にとるよう心がけた。</p> <p>・保幼小中連携事業については、新たな取り組みの中で進めることができた。来年度以降教科レベルでの連携も含めて活性化していきたい。</p> <p>・安全安心な学校づくりについて、地域や保護者と協力しながら推進することができた。</p> <p>・学校行事や授業参観、保護者会など保護者の理解や協力を得ながら、スムーズに運営することができた。来年度は120周年記念の年となるため、地域との連携を更に深めながら、意義深い取り組みができるよう創意工夫を図りたい。</p> <p>・今年度外部協力者は延べ人数で94人であった。新学習指導要領完全実施を迎える来年度は、更に地域の人材や教育資源を有効活用しながら、特色ある教育課程の推進に努力していきたい。</p> <p>・ICTのさらなる活用を図りたい。</p> <p>・校舎は古い子どもたちは丁寧に掃除を行い、大切に学校を使っている。よき伝統としてしっかり継承していきたい。</p>	<p>・学校協力者会議の働きを更に活性化させながら、その責任を十分果たしていきたい。</p> <p>・120周年事業について地域と学校がしっかり連携をとり、子ども達にとっても思い出に残る取り組みになるようお願いしたい。</p> <p>・学校評価、学校運営を支えていくためには情報提供が必要である。子どもや保護者の自然な声が伝わるようなものを今後も続けていきたい。</p> <p>・学校運営にあたって、学校が地域に希望する事柄を具体的に依頼をしていただくとよい。</p> <p>・小中連携について、部活動の果たす役割が大きいことから、部活動も視野にいたれた連携をお願いしたい。</p>
		学校運営のPDCAサイクルのあり方(教職員の意見の反映)			
		学校教育活動の公開(地域との連携)			
		適正な学校予算の執行と学年費等公費の計画的な運用			
		学校運営、校務分掌の適正化			
		職員会議や各種会議の有効性			
	学校協力者会議	組織の充実と活性化	A		
		教育活動全般に対する情報提供			
		構成メンバーによる授業参観			
	学校評価	学校評価の結果の検討と次年度の改善	A		
		学校評価に関わる情報が効果的に収集され、情報の公開、説明			
	幼小中連携活動	幼小連携について、意義を踏まえた交流の実践	B		
		小中連携について、工夫された交流の実践			
	安全安心な学校づくり	安全点検の徹底と実践	A		
		個人情報保護の観点からの管理・運営の適正化			
保護者や地域と方と協力しながら安全安心な学校づくりの構築					
効果的な防災訓練					
学習の雰囲気					
子育て支援	保護者に対する教育相談体制の整備	A			
	授業参観、保護者会の開催と参加しやすい環境づくり				
学校行事	年間行事計画の検討・改善	B			
	子どものにとって魅力的な学校行事の工夫・改善				
教育課程	各教科の年間指導計画、担当指導時数の検討・改善	B			
	地域の人材活用				
	児童の実態に即した教育課題を意識した特色ある教育活動の実践				
	総合的な学習の時間				
設備・施設	施設・設備の充実・点検・管理	A			
	施設の開放				
	清掃活動の取り組み				
基礎・基本の徹底と個性を伸ばす創意ある教育の推進	道徳教育	生命の大切さや社会のルール認識の育成	A	<p>・道徳教育については学習参観等の機会をとらえ授業公開を実施することができた。</p> <p>・今年度60分授業を実施し、授業時間の確保のための新たな取り組みを行った。今後60分授業の展開について工夫し、更に確かな学力の定着を目指し、じっくり学習に取り組み、効果的な学習が展開できるよう努めていきたい。</p> <p>・子どもの体力低下が問題になっているが、本校の子どもは休み時間もグラウンドで遊ぶ子が多く、体を動かすことをじょうずに楽しんでいる。来年度は、更に学校行事や体育の授業を核にしなが、その良さを生かしていきたい。</p> <p>・地域の人材や教育資源を生かした学習は大変効果的である。各学年の系統性を大切にして、新たな人材発掘に努めたい。</p> <p>・今年度導入した高学年の教科担任制については、出張時など運用面の課題はややあるものの、子どもにとって有効であると思われる。今後も改善を加えながら、小規模校での教科担任制のあり方を模索していきたい。</p> <p>・子ども達は、地域や家庭の支えの中で安定して生活することができている。生徒指導上の問題で深刻化するような事はなかった。今後も迅速な対応を心がけながら問題に対応していきたい。</p> <p>・読書活動については子どものアンケート結果や読書に親しむ様子から一定の成果があったように思う。今後、外部協力の機会を増やすなど更に工夫をしていきたい。</p>	<p>・数々の教育実践について工夫しながら取り組まれている。さらに基礎基本の徹底、個性を伸ばす教育の推進を努力していただきたい。</p> <p>・情報教育等、現在を生きる子どもにとって必要な知識、技能が身につく、課題を解決する力をさらにつけていっていただきたい。</p>
		年間指導計画に基づく継続的な学習活動			
		道徳の授業公開の実施			
	確かな学力	分かりやすい授業の実践	B		
		深く考え、友と学び合える子どもの育成			
		学習習慣の定着			
		学習ルール			
	豊かな情操	自分との違いを認め合える子どもの育成	B		
		思いやりの心の育成			
	たくましい実践力	児童会活動やクラブ活動の自主的な活動を支援	B		
		たてわり活動の効果的な推進			
		自主的な学級活動の実践			
		心と体を鍛え続ける子どもの育成(外あそび)			
		地域の行事や少年団等の活動への参加			
		効果的な食育の実践			
体験活動	外国語活動の推進	A			
	発育段階を考慮した系統性のある体験学習の実施				
特別支援教育	個々の児童の課題の把握と支援	B			
	学校生活に困難さを感じている児童の支援				
	たんぼぼ学級との交流				
生徒指導	個々の指導計画や教育支援計画の作成	A			
	様々な問題行動の予防や防止に係わる共通理解の徹底				
	家庭との密接な連携のあり方				
	教育相談体制の整備				
	関係機関との効果的な連携				
	社会のルールやマナーの育成				
	気持ちのよいあいさつの励行				
時間の厳守					
読書活動	外部講師の活用など工夫された読書活動の実践と効果	A			
	読書の楽しさを味わわせる活動の実践				
教職員の意識改革と専門性の発揮	新しい人事評価	B			
	教育目標、経営方針等の提示				
	職員研修	教職員の資質の向上をめざした研修の実施	B		
		児童理解			
		職場における服務・規律の向上			
	学習指導	個に応じたきめ細やかな指導の実践	B		
		問題解決学習等自ら進んで学習する姿勢の育成			
グループ学習やコース別学習の効果的な指導の実践					
校内研修会	評価方法の検討・分かりやすい評価の実施	B			
	課題解決の場としての有効性				
	授業参観の機会の確保	B			